

成田空港の大規模拡張に伴う集落移転と地域資料の緊急保全活動

北総地域資料・文化財保全ネットワーク

相川陽一*1・新井勝紘*2・奥住淳*3・白井哲哉*4・菅谷祐輔*5・檜皮瑞樹*6・森脇孝広*7

*1 長野大学 *2 専修大学 *3 芝山町教育委員会 *4 筑波大学 *5 千葉経済大学 *6 千葉大学 *7 高崎経済大学

〔1〕北総地域資料・文化財保全ネットワーク（北総ネット）とは

・2024年6月に設立され、7名の共同世話人で運営するボランティア団体です。現在、千葉県の北東部では、成田空港の大規模な拡張工事が進んでおり、芝山町、多古町、横芝光町、成田市などの広域で集落移転などが起きています。特に、芝山町への影響が大きく、4集落（地区）約130戸が全戸移転となります。北総ネットでは、大規模開発に伴う地域資料の散逸や滅失を防ぐため、①区有文書をはじめとした地域資料の現状把握や資料整理、②解体を避けることのできない歴史的建造物等の記録保存、③失われる地域景観の撮影、④集落移転後の資料保全に向けた相談対応等を行っています。

〔2〕2024年度の活動ー全戸移転に対応した緊急資料調査を実施ー

・全戸移転が進む芝山町内の4地区に緊急資料調査を実施しています（うち1地区への調査は2025年2月に実施予定）。大規模開発により地域そのものが空港施設に変貌することから、1）文書班、2）建築班、3）石造物班、4）映像班を編成し、千葉歴史・自然資料救済ネットワークをはじめとする関係機関のサポートを得て、2024年7月に現地下見、同9月2-6日に芝山町の①中谷津地区、②中郷地区、③菱田東地区にて公会堂（集会所）内の資料の概要把握調査と目録作成を実施しました。歴史的建造物の実測やドローンを使用した3Dスキャン、移転準備の過程で新たに発見された石碑などの石造物の撮影やデータ取得なども実施しました。この9月調査には延べ約70名に参加いただきました。

各地区の歴史資料・地域資料の調査と保全について

成田空港の機能強化によって、各家で保存されている古文書や民具などの資料、寺社や古い民家などの歴史的な建築物、集会所で保管されている区有文書など、地域の歴史を伝える大切な資料が散逸や消失の危機にあります。町としてもこれらについて対策が必要だと考えておりましたが、この状況を知った大学の教員などがメンバーとなって、このたび「北総地域資料・文化財保全ネットワーク」が設立され、町教育委員会、しばやま郷土史研究会と共同で調査を実施する運びとなりました。

住民の皆様におかれましては、本取組の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

調査期間 令和6年9月2日（月）～6日（金）

調査内容

- ①集会所などにある地域資料（区有文書）の保全
例：会議録、会計簿、日誌、賞状、看板など（意外なものも資料になります）
- ②歴史的な建築物の図面作成
寺社や個人宅の土蔵など（人が居住していない建物）

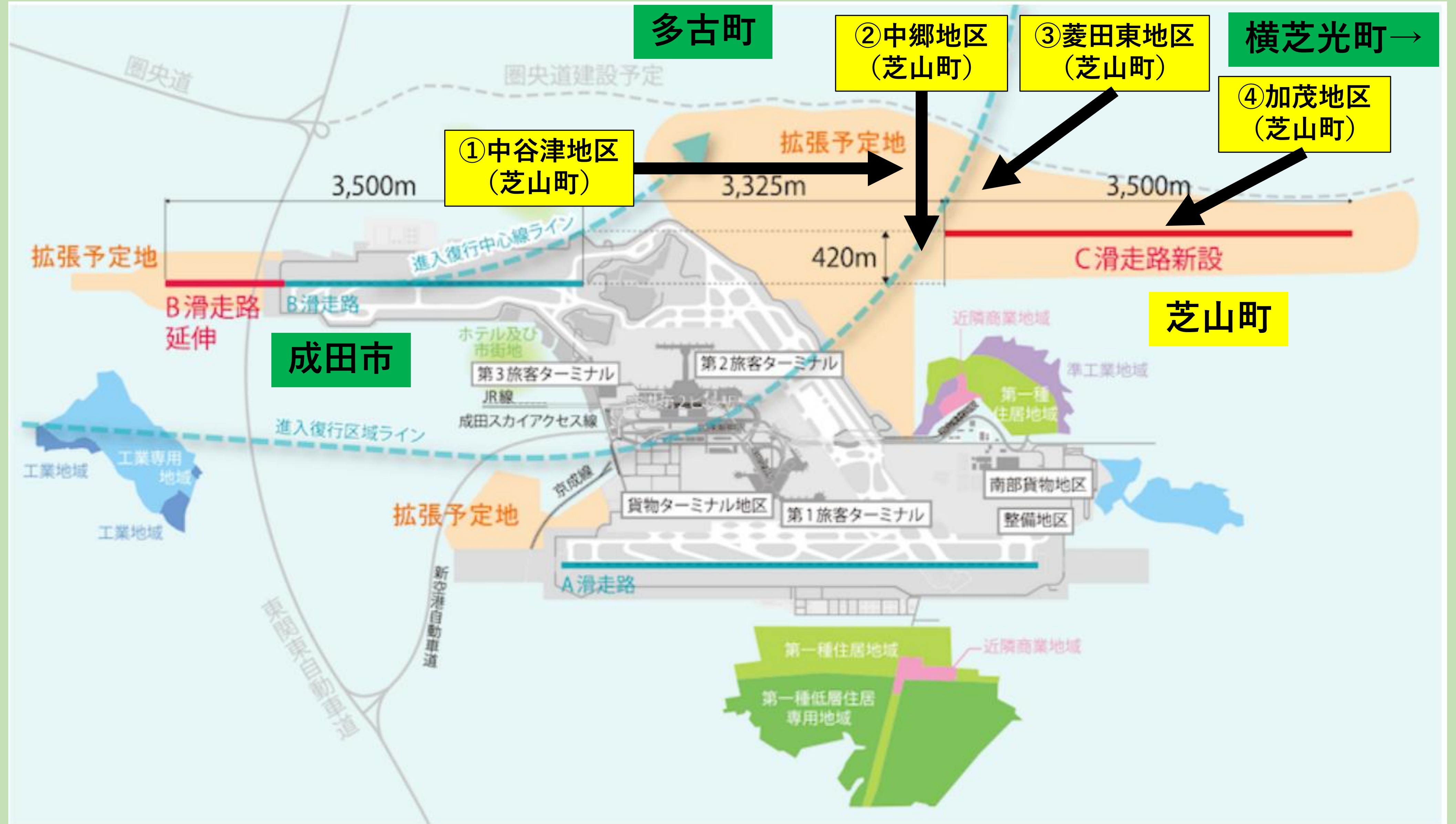
調査方法

- ・実際に調査を行うのは大学の教員や学生です。上記の期間中各地区に入り調査を実施します。
- ・調査を実施する者は身分が分かるものを身につけます。
- ・調査対象となる個人のお宅の土蔵などは、郷土史研究会会員の情報などから決定し、直接ご連絡いたします。

その他

- ・各家にある古文書や近現代の資料の保全、現在お住まいの建物の調査は、別の時期に実施予定です。
- ・建物の図面などの調査結果は、地区や調査対象のお宅などにお返ししようと考えています。

この件に関する問合せ先 芝山町教育委員会
電話 77-1861 メール bunka@town.shibayama.lg.jp

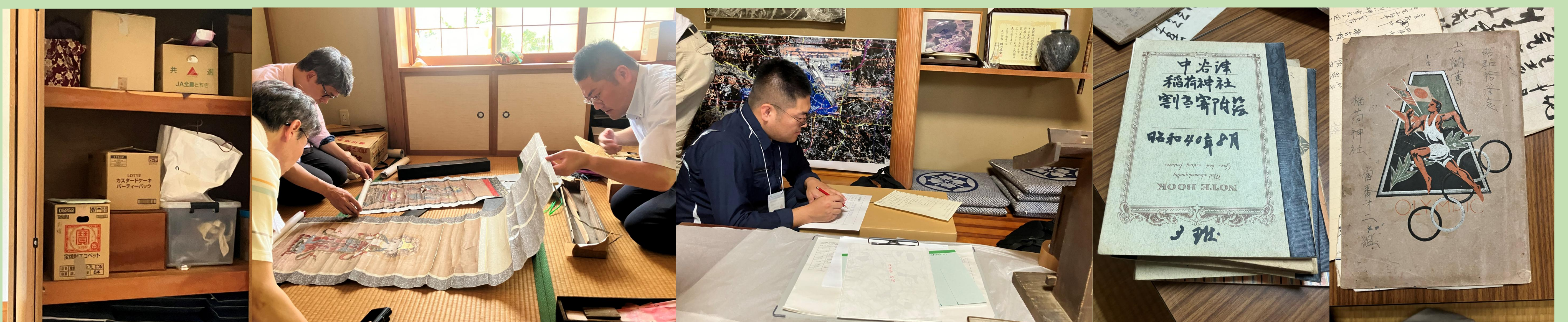


資料1. 成田空港の拡張計画図と北総ネットによる調査実施地域
出典：成田国際空港株式会社ウェブサイトにて報告者が自治体名と調査地名を加筆
URL: <https://www.narita-kinoukyouka.jp/maintenance.html> (2025年1月10日最終閲覧)

資料2. 教育委員会による地域への調査依頼状

〔3〕2025年度以降の活動予定

・2025年度には成田空港の拡張工事が本格進行する見込みです。地域資料の保全に向けた活動をさらに進めていきます。
・2024年度の緊急資料調査は、専門家、自治体、郷土史研究会の連携で実現した活動でした。具体的には、芝山町教育委員会としばやま郷土史研究会が、北総ネットと各集落をつないでくださったことにより、緊急調査が実現しました。
・2025年度に工事が進行することが予想されるため、多くの皆様に資料保全活動にご参加いただきたく、また、先行する多くの史料ネットの経験に学びさせていただきたく、何卒よろしくお願い申し上げます。



〔2024年7月～9月の調査風景と資料写真（一部）〕

謝辞：本報告は長野大学研究助成（地域・社会貢献研究）による研究成果の一環です。本ポスター発表にあたり「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」より助成をいただきました。このたびの地域資料調査にご協力いただいたすべての皆様に、厚く御礼申し上げます。